

ナンバリングコード 授業科目名 (時間割コード: 914020)	科目区分	時間割 前期集中	対象年次及び専攻 1～教育学研究科 高度教職実践専攻
学校教育における今日的課題Ⅱ～特別な 教育的配慮を必要とする子どもへの指導～	水準・分野	DP・提供部局 ABCL	対象学生・特定プロ グラムとの対応
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 武蔵 博文, 松島 充	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×8回+自学自習(準備学修30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 学校教育の今日的課題として、通常の学級に在籍する発達障害等の可能性のある児童生徒に対する指導支援がある。発達障害児が示す学習上の困難とそれに対する指導法について理解する。音声言語学の基礎から、言語発達・コミュニケーション能力とその困難、支援の観点と方法について理解する。数学科教育学の視点より、基本的数処理・数概念のつまずき、四則演算や筆算、文章題の指導などに関して理解する。 *本科目は、単位互換協定により、鳴門教育大学及び愛媛大学への提供科目である。本学教育学研究科の学生は履修できない。			
授業の目的 特別支援教育の観点からは、言語発達・コミュニケーション能力、算数(数学)能力の問題について展望し、指導のあり方について理解することを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児が示す学習上の困難について理解する。 ・言語発達とコミュニケーション能力に困難のある子どもに対する支援方法を理解する。 ・算数障害のある子どもに対する指導方法を理解する。 			
成績評価の方法と基準 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニレポート ・グループ演習での作業等 ・小テスト 			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回: 発達障害児に生じやすい学習・行動上のつまずき (武蔵博文) 第2・3回: 学習・行動上のつまずきを考慮した個に応じた指導のあり方 (武蔵博文) 第4回: 言語発達・コミュニケーション能力とその困難 (武蔵博文) 第5回: 聞く・話すのアセスメントとつまずきの特性に応じた指導支援 (武蔵博文) 第6回: 数・量概念の理解や数学的思考にかかわる数学科教育法 (松島 充) 第7回: 算数障害とは何か (松島 充) 第8回: つまずきの特性に応じた指導プログラム (松島 充)			
教科書・参考書等 (教) 竹田契一・上野一彦・花熊暁監修「S. E. N. S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践【第3版】Ⅱ 指導」金剛出版 (参) 武蔵博文・恵羅修吉監修「エッセンシャル 特別支援教育コーディネーター」大学教育出版			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 本講義では、学習上での困難、個に応じた指導について概観した後に、子どもが生活や学習を進める上で基本となる「話す・聞く」「数量・数的推論」を取り上げる。これからの特別支援教育では、基本的な生活・学習能力の評価と指導が求められる。			
メールアドレス 武蔵 博文: musashi.hirofumi@kagawa-u.ac.jp 松島 充: matsushima.mitsuru@kagawa-u.ac.jp			